

【2000年10月までに当科で大腿骨頭無腐性壊死に対して手術を受けられた患者さんへのお知らせ】

＜大腿骨頭無腐性壊死の術後成績に関する検討について＞

当教室では、2000年10月までに当科で大腿骨頭無腐性壊死に対して手術を受けられた患者さんのうち、治療終了後も当科外来に定期通院されている方につきまして、長期予後を検討するための後方視的調査研究を実施いたしました。

当教室の調査実施期間は2000年1月から2000年12月まで行いました。

(1) 研究の意義（背景および目的）

川崎医科大学付属病院にて手術的治療を行った大腿骨頭無腐性壊死症の患者さんのカルテ、レントゲン进行评估し、病型や治療法等により、どの程度治療結果が変わったかを調査する研究です。

(2) 介入の方法、観察の方法、研究対象者に依頼する事項

これまで記録されたカルテやレントゲン写真の評価のみですので、改めて介入や観察を行うことはありません。また研究対象者に改めて依頼する事項もありません。

(3) 研究によって新たに加わる侵襲と予想される有害事象

とくにありません。

(4) 個人情報（個人を特定できる情報）の保護の方法

個人を特定できる情報の開示はありません。

(5) 検査・薬剤等の費用負担

特に新たな検査や薬剤使用はありません。

(6) 謝礼の有無

研究対象者への謝礼はありません。

(7) 対象者本人には直接的な利益

この研究によって研究対象者に新たな利益が生じることはありません。これから治療を受けられる患者さんへの利益のための研究です。

研究に関してご質問のある場合は、下記までご一報くださいますようお願いいたします。

問い合わせ先： 脊椎・災害整形外科学 長谷川 徹

電子メール： t.hasega@med.kawasaki-m.ac.jp

TEL： 086-462-1111 FAX： 086-464-1194

研究組織： 川崎医科大学整形外科学

主任研究者： 脊椎・災害整形外科学 教授 長谷川 徹

分担研究者： 中村医院 院長（旧川崎医科大学 整形外科学 講師） 中村 慎一

倉敷中央病院 整形外科（旧川崎医科大学 整形外科学 講師） 林 健太郎

湯河原厚生年金病院 整形外科（旧川崎医科大学 整形外科学 臨床助手） 間部 毅

玉造厚生年金病院 院長（旧川崎医科大学 整形外科学 教授） 三河 義弘